

パワーポイントによるプレゼンテーション用スライドの作成

UENO Toshihiko, Professor of Russian Politics
Department of Russian Language and Studies, Faculty of Foreign Studies, Sophia University
e-mail: uenot@mc.newweb.ne.jp; URL: <http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html>

パワーポイントを使って、プレゼンテーション用のスライドを作成します。

スライドは、テキストだけでなく、グラフや画像などのオブジェクトを挿入できます。また、テキストやグラフなどのオブジェクトには、アニメーション（動き）や効果音などを付加することができます。プレゼンテーションの効果を高めることができます。

1. 表紙の作成

パワーポイントを立ち上げると、初期設定では、自動的にスライド作成の画面が立ち上がります。

「クリックしてタイトルを入力」および「クリックしてサブタイトルを入力」の指示に従って、タイトルおよび必要ならばサブタイトルを入力します。

2. 二枚目以降のスライドの作成

以下の手順で2枚目以降のスライド作成作業に入ります。

メニューの「挿入(I)」>「新しいスライド(N)」をクリックします。

2.1. テキストだけのスライドの作成

通常のテキストを入力する場合は、「クリックしてタイトルを入力」および「クリックしてテキストを入力」の指示に従って、テキストを、また必要ならばタイトルを、入力します。

2.2. グラフを含むスライドの作成

グラフを挿入する場合は、以下の手順を実行します。

画面右側の「スライドのレイアウト」作業ウィンドウの「コンテンツのレイアウト」のグループのなかの、「タイトルとコンテンツ」というアイコンをクリックします。

画面右側に作業ウィンドウが表示されていない場合には、メニューの「表示(V)」>「作業ウィンドウ(K)」をクリックすると、作業ウィンドウが表示されます。

メイン画面に「アイコンをクリックしてコンテンツを追加」という表示が出たら、その表示の上にあるアイコンから、グラフのアイコンをクリックします。

グラフサンプルが表示されますので、ワードでグラフを作成したときと同様の方法で、データシートに作成しようとするグラフのデータを入力します。

必要に応じて、ワードでグラフを作成したときと同様の方法で、グラフの種類、色などを選択します。

今回の授業では、グラフ作成の作業は省略して、アニメーション効果などの付加の方法を学びたいので、グラフサンプルをそのまま利用することにします。

「クリックしてタイトルを入力」の指示に従って、グラフのタイトルを入力します。グラフのタイトルは、何でも構いませんが、とりあえず「2006年第1四半期支店別売り上げ」とします。

グラフ付近にカーソルを移動して、右クリックし、メニューが表示されたら、「グラフオブジェクト」>「編集(E)」を選択します。

Y軸の数字の左側付近にカーソルを移動して、右クリックし、メニューが表示されたら、「グラフのオプション」をクリックします。

「グラフオプション」設定画面で、「タイトルとラベル」タブ画面で、「Z/数値軸(V)」の欄に「台」と入力します。

「OK」ボタンをクリックして「グラフオプション」設定画面を終了し、「2006年・・・」とあるタイトル付近にカーソルを移動して、左クリックして、「グラフオブジェクト」の「編集」画面を終了します。

2.3. グラフにアニメーション効果を追加

ワードやエクセルではできないパワーポイントならではの機能にアニメーション効果の付加機能があります。このアニメーション機能を効果的に利用することによって、より説得力があり印象に残るプレゼンテーション用のスライドを作成することができます。

グラフサンプルを利用して、このグラフにアニメーション効果を追加してみましょう。それには、以下の手順を実行します。

データシートを消して、画面の右側に「スライドのレイアウト」作業ウインドウを表示します。

「スライドのレイアウト」作業ウインドウの「スライドのレイアウト」という表示の右側をクリックして、メニューが表示されたら、「アニメーションの設定」をクリックして、「アニメーションの設定」作業ウインドウを表示します。

「効果の追加」ボタンをクリックし、メニューが表示されたら、「開始(E)」>「Wワイブ」をクリックします。「スライドのレイアウト」作業ウインドウの一番下にある「再生」ボタンをクリックすると、付加された「ワイブ」効果を確認できます。これでも、一応、動きのあるスライド画面ができましたが、より詳細なワイブ効果、すなわちグラフの項目ごとに(東京、名古屋、大阪の棒グラフごとに)「ワイブ」効果が現れるようなスライドのほうがより説得力のあるプレゼンテーションができます。そのための作業は以下の手順で実施します。

「スライドのレイアウト」作業ウインドウの「1 グラフ 2」という表示の右側の ボタンを

クリックして、メニューの「効果のオプション(E)」をクリックします。

「ワイプ」設定画面が出たら、「グラフアニメーション」のタブをクリックします。

「1つのオブジェクトとして」という表示の右側のボタンをクリックして、メニューの「効果のオプション(E)」をクリックします。

「系列別」を選択し、「グリッドと凡例にアニメーションをつける」のチェックをはずして、「OK」ボタンをクリックします。

3. スライドのデザイン

プレゼンテーションの善し悪しは、あくまでもプレゼンテーションを行う人の話し方や、コンテンツの質によって決まるのであって、スライドの効果やデザインによって決まるものではありません。とはいえ、テレビCMや新聞雑誌の広告、あるいはホームページなどでの、ビジュアル面のセンスやデザインは、そこで伝えられるメッセージや提示されている商品などの印象を強めたり、好ましい印象を与えたりする効果があります。そこで、スライドの配色やデザインは、必要に応じて、変化を持たせることができ、そのためのサンプルが用意されています。

3.1. スライドの背景

スライドのデザインで最も重要な要素の一つは、背景です。スライドの背景のデザインは、オリジナルのものを作成することもできますが、まずは以下の手順でサンプルから適当なものを選択しましょう。

「アニメーションの設定」作業ウィンドウの「アニメーションの設定」という表示の右側をクリックして、メニューが表示されたら、「スライドのデザイン」を選択します。

「スライドのデザイン」作業ウィンドウで、任意のデザインテンプレートを選択してクリックすると、その背景がすべてのスライドに適用されます。

3.2. スライドの配色

スライドの配色は、一括して変更することが可能です。配色の一括変更は、以下の手順で行います。

「スライドのデザイン」作業ウィンドウの「スライドのデザイン」という表示の右側をクリックして、メニューが表示されたら、「スライドの配色」を選択します。

「スライドの配色」作業ウィンドウで、任意の配色を選択してクリックすると、その配色がすべてのスライドに適用されます。